

部活動の地域移行における現状と課題について

七尾市教育委員会事務局 教育総務課

-1-

部活動の状況

○学校部活動は、スポーツ・文化芸術に興味・関心のある同好の生徒が自主的・自発的に参加し、各部活動の顧問の指導の下、学校教育の一環として行われ、教師の献身的な支え（ほぼボランティア）により、スポーツ・文化 芸術振興を担ってきた。

○体力や技能の向上を図る目的以外にも、異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図り、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の醸成など、学校という環境における生徒の自主的で多様な学びの場として、教育的意義を有してきた。

○部活動

（2024年5月1日現在）

学校名	生徒数	加入者数	部活動数	外部指導者数 (部活動指導員含む)
七尾中学校	434名	338名	21部（運動17,文化4）	16名
七尾東部中学校	378名	292名	19部（運動16,文化3）	10名
能登香島中学校	169名	126名	10部（運動 8,文化2）	6名
中島中学校	86名	71名	6部（運動 4,文化2）	5名

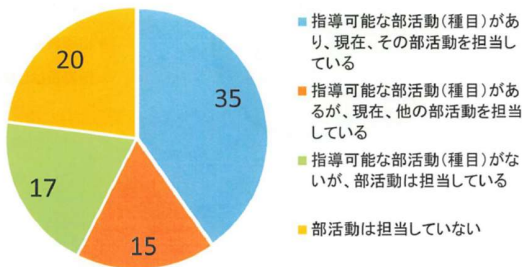
- ・希望加入制（令和5年度から）
- ・週4日（平日3日、休日どちらか1日）

-2-

部活動の課題

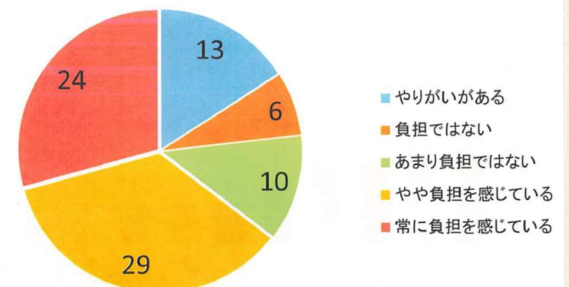
- 少子化が進展する中、学校部活動の種目の減少など従前と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にある。
- 競技経験・指導経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担となっており、学校の働き方改革が進む中、より一層厳しくなる。

1 現在、担当している部活動について教えてください。
(中学校のみ)



経験したことがある部活動を担当 53%
経験したことがない部活動を担当 47%

2 部活動に対して負担感を感じていますか。(中学校のみ)



負担に感じている 65%
負担ではない 35%

約半数の教師が経験したことがない部活動を担当している

約6割弱の教師が部活動に負担を感じている

-3-

「七尾市立中学校部活動の地域移行」に関するアンケート(R5.4)

国の方針

令和4年12月

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン【概要】



- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
 - 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
 - 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。
- ※Ⅰは中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。Ⅱ～Ⅳは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

- (主な内容)
- ・教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
 - ・部活動指導員や外部指導者を確保
 - ・心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
 - ・週当たり2日以上休養日の設定(平日1日、週末1日)
 - ・部活動に強制的に加入させることがないようにする
 - ・地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

- (主な内容)
- ・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
 - ・地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
 - ・指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
 - ・競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
 - ・休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
 - ・公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
 - ・困窮家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や

地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組むこと、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

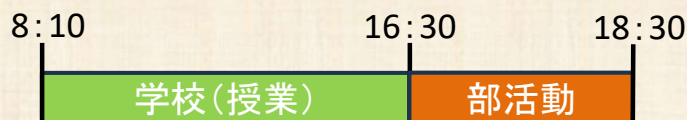
(主な内容)

- ・大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・全国大会の在り方の見直し(開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等)

-4-

地域クラブ活動等のイメージ図

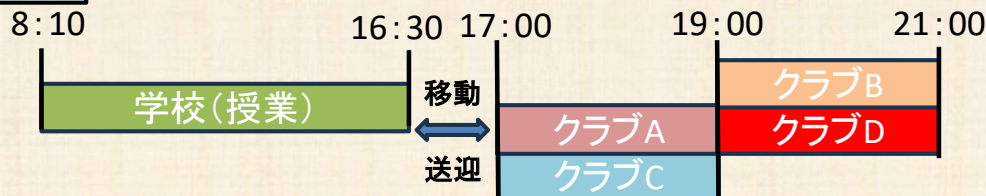
学校部活動



部費 1,000～3,000円/月



地域移行後



会費 3,000～10,000円/月

自治体単位で整備を促す

クラブA

クラブD

地域密着型
(初心者から経験者まで)

クラブC

経験者が多い

クラブB

人数制限有り
(セレクションなど競技性が高い)

基礎練習・体力づくり

専門性・競技力向上

小学生対象のスポーツ教室と同等のものを中学生対象として創設するイメージ

-5-

七尾市における休日クラブ活動の推進

○令和5年度、休日のクラブ活動のモデル校を選定し実証事業

- ・対象：中島中学校の4運動部活動
- ・実施主体：なかじまスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）

部活動	なかじまスポーツクラブ	指導者	活動場所
バドミントン部	中島ジュニアバドミントンクラブ	2名	中島体育館、中島中学校
男子バスケットボール部	中島ジュニアバスケットボールクラブ	6名	中島体育館、中島中学校
女子バスケットボール部			
野球部	中島ベースボール	2名	中島野球場、中島憩いの広場

○市内のスポーツ教室・クラブに中学生の休日クラブ活動の受入れを打診

- ・ボールの大きさやネット、ゴールの高さ等の違いがあり、指導しづらい
- ・今教えている教室（クラブ）で手一杯（土日も活動）・・・家族の理解
- ・大会などの目的がなく、指導者としてのやりがいがない

という意見が多かった・・・

-6-

部活動を地域クラブ等に移行時の課題

〇市

・指導者の確保

※教師についても、休日クラブ活動を“指導したい”または“指導してもよい”割合は、小中で14%(36人)

・練習場所の確保

※17時以降の練習となることが想定されるため一般・小学生対象スポーツ教室の練習と重なる

・吹奏楽部は楽器の保管や練習場所までの移動手段

〇保護者

・参加者費用負担（小学生対象のスポーツ教室と同じ）

・練習場所までの交通手段

〇その他

・県中体連の大会（全中大会予選）に令和5年度からクラブが出場できるようになったが、個人競技は比較的出場できるが、団体競技は1学校単位で出場が原則となっている。（選抜を避けるため）

-7-

地域クラブ活動等の状況

中学生の受入可能な市内地域クラブ一覧（※この他に市外で受入れ可能なクラブあり）

種目・競技	クラブ名	場所	曜日	時間	会費等
バスケットボール	中島ジュニアバスケットボールクラブ（男女）	中島体育館	月・水・金	18：30～	年会費3,000円 月額1,000円（男子）
	七尾DACHS（男子）	七尾中学校体育館 他	火 日	18：30～ 9：00～	入会金3,000円 月額1,000円
	七尾DACHS（女子）	七尾中学校体育館 他	水 日	18：30～ 15：00～	月額1,000円（セレクション有）
	金沢武士団バスケットスクール	田鶴浜体育館	月	19：30～	入会金5,280円 月額5,280円
野球	中島ベースボールクラブ（軟）	中島野球場 他	土・日曜	9：00～	年会費3,000円 年額3,000円
	USICAベースボールアカデミー（軟）	南部体育館	水	16：30～	月額7,700円
	能登リトルシニア（硬）	旧七尾工業高校グラウンド	土・日・祝	9：00～	入会金10,000円 月額10,000円
バドミントン	中島ジュニアバドミントンクラブ	中島体育館	火・木・土	19：30～	年会費3,000円 月額3,000円
	七尾ジュニアバドミントンクラブ	七尾東部中学校 他	火・木・金・土・日	19：00～	年会費3,000円 月額3,000円
ソフトテニス	NanaoSTC	田鶴浜テニスコート 他	水・日	19：00～	入会金1,500円（2,150円） 年額1,500円
卓球	松平卓球教室	松平スポーツ	月～土	18：30～	入会金3,000円 月額6,000円～
陸上	NASPOジュニア陸上競技教室	城山陸上競技場	土・日※8月休み	10：00～	年会費3,000円 月額1,500円
	NASPOインターカ陸上競技クラブ	城山陸上競技場	木	18：30～	年会費3,000円 月額2,000円
剣道	七尾市剣道連盟	七尾市武道館	週3程度受入可	20：30～	調整中
柔道	全日本柔道少年団七尾分団（七尾市柔道協会）	七尾市武道館	火・金 土	18：30～ 9：00～	月額1,500円 登録費等2,800円
相撲	七尾能登島相撲クラブ	能登香島中学校相撲道場	月・水・金	18：30～	月額3,000円
空手	能登島空手道場	能登島武道館立野	月・水・金	18：00～	月額3,000円
少林寺拳法	少林寺拳法能登七尾道院	能登七尾道院	木 土	19：00～ 14：00～	信徒香資月3,500円 入門香資3,000円 年会費10,000円
体操	七尾ジュニア体操クラブ	鵬学園高校第2キャンパス	火～金 土・日・祝	19：00～ 9：00～	月額3,000円～
ゴルフ	ジュニア&レディースゴルフスクール	エビアンゴルフ倶楽部	第3土曜日	18：00～	1回2,000円
水泳	スポーツギャザー770	スポーツギャザー770	月・水・木・金	①16：20～	入会金2,200円
	ジュニアスクール	スポーツギャザー770	土曜	①10：20～	年会費1,200円 月額7,370円～

部活動の地域クラブ移行に関する記事

北國新聞 令和5年6月29日(木)

中学総体にクラブ解禁

5競技に16チーム

7月に開催される県大会に出場する川中地区の中学生が、部活動から地域クラブに移行する。5競技に16チームが参加する。川中地区の中学生は、これまで部活動から県大会に出場していたが、今年度から地域クラブに移行する。5競技に16チームが参加する。川中地区の中学生は、これまで部活動から県大会に出場していたが、今年度から地域クラブに移行する。

部活の「地域移行」受け

盛り上がり期待
力の差 不安の声

生徒の選択肢増

部活動の地域移行について、関係者は「部活動から地域クラブに移行することで、生徒の選択肢が増える」と歓迎している。一方、部活動から地域クラブに移行することで、力の差が広がるという不安の声も聞かれる。

【県中学総体に出場する地域クラブ】

柔道（6チーム）

能美柔道クラブ、犀川柔道教室、県立武道館、小松市柔道協会、中能登柔道教室、七尾市柔道教室

バドミントン（5チーム）

Shinshin(金沢)、小松ジュニア、加賀市ジュニア、寺井JBC、オールイマジニア（小松）

ソフトテニス（2チーム）

JumpSTC（内灘）、能美Jr.STARS

剣道（2チーム）

小松桜木剣正会、杜の里

バレーボール（1チーム）

LEAD（津幡）

ご清聴ありがとうございました

終わり